

Jリーグ参入に向けたクラブ戦略に関する研究

—奈良クラブを例に—

山本 翔平 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 後藤 英文

キーワード：Jリーグ J3 奈良クラブ

1. 緒言

日本にJリーグが誕生して20年を越えた。Jリーグは年々クラブ数を増やし、サッカーは国を代表する人気スポーツになった。

そんな中、Jリーグは2013年度から新たにJ3の新設を発表した。この発表により、全国各地で参入を目指すクラブの動きは活発になっている。

2. 研究の目的

奈良県は京阪神に比べて大企業が少なく、なかなかプロスポーツが根づきにくい現状にある。そんな中、奈良クラブは奈良県初のプロサッカーチーム誕生に向けて、活動を続けている。サッカーを通じて県のサッカー環境、また、町の活性化を図っており、今後のクラブの成長に注目が集まる。

そこで、本研究は奈良クラブのJ3参入に向けた動きを追い、現在のクラブの課題、改善点を明らかにし、考察していくことを研究の目的とする。

3. 研究方法

1) 調査対象者

奈良クラブGM

地元新聞社記者

N新聞サッカー記者

2) 調査方法

インタビュー調査

文献調査

紙面調査 (雑誌含む)

3) 調査時期

・2013年、9月初旬から10月半ばの夏季休業中に行った。

4. 結果・考察

Jリーグは、奈良クラブのホームスタジアムである鴻池陸上競技場が、Jリーグの定める要件を満たしていないと判断し、2014年度からの参入は見送りになった。

【具体的な内容】

鴻池陸上競技場のピッチサイズが不足しており且つ、改修予定の見通しが立たなかった。

ホームスタジアムでホームゲームの80%以上を開催できるか不透明であった。

5. まとめ

奈良クラブGMは今後も継続してJリーグ参入を目指すコメントしており、Jリーグ参入は来年度以降に持ち越されることとなった。調査の結果から、スタジアムの改修や、チームの強化は急務である。それと並行して、クラブの財政基盤をしっかりと作り上げていくことが今後の課題になる。

【引用参考文献】

佐藤拓也 (2012) F C町田ゼルビアの美学. 出版芸術社

川淵三郎 (2009) 「J」の履歴書. 日本経済新聞出版社

Jリーグ公式サイト

<http://www.j-league.or.jp/>

J3準備室特設サイト

<http://j3.j-league.or.jp/>

奈良クラブオフィシャルサイト

<http://naraclub.jp/>